

真岡発、「バーベキュー交流会」

——外国人児童生徒及び保護者交流会——

真岡市立真岡西小学校 佐藤 和之

1. 真岡市外国人児童教育研究会主催「バーベキュー交流会」

去る平成20年11月16日(日)真岡市自然教育センター野外炊飯場において、バーベキュー交流会(外国人児童生徒及び保護者交流会)が開催された。

平成13年に第1回交流会を開催してから、今回で第8回開催となった。開催の主旨としては、真岡市に在住する外国人児童生徒とその保護者、それから日本語指導を担当する各校の教職員が国籍や学校を越えて一堂に会し、交流を通し相互理解を深めることを目的としている。

今回は106名の参加申し込みがあった。内訳は、外国人保護者54名、外国人児童(小学生)29名、外国人生徒(中学生)8名、日本語教室担当者等教職員15名である。

2. 雨を感じさせない熱気

当日は生憎の雨と言うこともあり、混雑が予想されたが、自然教育センター(真岡市教育委員会)のご配慮で多目的ホール(体育館)を使わせていただくことができ、バーベキューを保護者が準備している間、子どもたちはボール運動等で交流をもつことができた。

さて、メニューだが、ブラジル日系人であり日本語指導助手を勤めるFさんに食材の調達をお願いし、ブラジル風及びペルー風の味付けによるバ

ーベキューであった。(今回は特別に参加者の中のあるペルー人家庭が、牛の心臓の串焼きを提供して下さった。日本人参加者にとってビックリの食材であった。)父親たちが炭で火をおこし分厚い牛肉や腸詰めを網焼きにした。また、母親たちはフランスパンに焼いた牛肉と一緒に挟むための、トマトとキュウリとタマネギを細かく切ったサラダを作った。味付けはブラジル風が荒塩によるシンプルな塩味、ペルー風が塩こしょうや唐辛子など独特なたれをブレンドしたものだった。

毎年感心させられることだが、開会行事の後、誰が役割分担をするわけでもなく指示を出すわけでもないのに、自然にトマトを切るとかキュウリを切るとかと各パートに分かれて作業を始める。肉を

焼く父親たちは楽しんでいるかのように焼き続ける。そして後からやってきた人たちも「久しぶり、元気だった?」という会話の後、やはり作業にとけ込んでいく。慣れない手つきの日本人教職員チームにも笑顔で切り方を教えてくれる。いつもと多少違うメンバーとの交流を心から、自分から楽しんでいる姿に、外国から日本に目的を持って自分の意志で来ている人たちの前向きさを感じることができる。

3. 教え子たち・保護者との交流

私は現任校と前任校合わせると、平成20年度で日本語指導教室担当10年目となる。この「バ



「バーベキュー交流会」には第1回から毎回参加しているが、現任校と前任校の卒業生やその保護者との再会を毎年とても楽しみにしている。今回も何人かの卒業生と再会することができた。一段と背が高くなって部活動で活躍している中学1年になる男子生徒。中学3年生になり、県立高校進学を目指して頑張っている女子生徒。県立高校3年生となり、来春には地元での就職を目指しながらもまだまだ子どもでいたような女子生徒。そして、1歳の女兒のお母さんになった、かつて日本語教室ではお姉さんの立場だった女の子との再会もあり、10年の長さで教え子たちの成長の早さを再認識した思いである。また、かつての保護者たちも屈託のない笑顔で自慢の子どもたちの様子を話してくれた。

ちょっと感傷的になり、卒業生に思いを寄せると……両親の温かい愛情に包まれて、小学校中学校と素晴らしい恩師と出会い、もちろん本人の努力もあって大学まで進学できた教え子。家庭の都合で高校中退を余儀なくされ、やむなく就職。しかし、日本での目標がもてずに帰国した教え子。何年も外国人児童生徒と接していると、日本の教育制度の中で頑張っている子もいれば、うまくいかなかった子もいる。しかし、いずれにしても彼等の人生の途中経過であり、今後の彼等の生活が明るい光に満ちたものであることを祈るばかりである。



4. 保護者の声

食事一通り終わり、談笑の時間となり和やかな時間が流れる中、交流会について外国人保護者

からの感想を聞いてみた。多くの保護者が答えて下さったが、いくつか紹介する。

「この交流会は、とても良い会だと思いました。なぜなら、多くの方と話をすることができまし、ペルー式・ブラジル式のバーベキューを味わうことができたからです。そして、日本人の方とも仲良くできたからです。(真岡西小 ブラジル国籍)」

「とても美味しかった。参加した皆さんの仲良くしようという気持ちが伝わってきた。(真岡東小 ペルー国籍)」

「日本人の方も外国人の方も、お互いに協力しあって良かった。お互いの習慣が一緒になるととても良い時間だと思いました。(真岡東小 ペルー国籍)」

「初めて参加しましたが、皆さんがとても気持ちよく受け入れてくれて、以前から参加していたように感じました。ただ、たくさんの音楽がなかったのが残念でした。来年もまた参加して、多くの方々と友だちになりたいと思いました。(真岡西小 ブラジル国籍)」

「これからも続けてほしいです。できれば(ブラジルとペルー以外の)他の国の料理を味わう時間を作ってほしい。そうすれば、他の国のことや習慣を知ることができると思うからです。(真岡西小 ペルー国籍)」

「子どもたちのために優しく面倒を見て下さっている先生方に感謝しています。この交流会を続けていってほしいと思います。(真岡西小 ブラジル国籍)」

5. おわりに

私は今回の「バーベキュー交流会」を主催した真岡市外国人児童教育研究会の事務局を担当して6年になるが、上記のような感想を寄せて下さる保護者に心から感謝している。と同時に、様々な願いを聞くこともでき、新たな課題として日々改善に努めている。これからも保護者の思いや願いを大切にして、「バーベキュー交流会」を続けていければと思っている。